

比治山大学

子ども発達教育学科

ニュースレター4号

■ 学園祭が対面開催されました

10月29・30日、第56回比治山祭が開催されました。今年は2年ぶりに対面での開催（関係者のみ来場）となり、秋晴れの好天のもとでの学園祭となりました。同じ敷地内にある附属幼稚園も作品展を実施し、保護者の方々と園児さんの姿もありました。

模擬店、キッチンカー、消防団ブースによる体験コーナー、映画上映のほか、学生ステージやアーティストのライブ、スペシャルゲスト「どぶろっく」「ぐりんぴーす」のお笑いライブもあり、ハロウィーンの衣装をする学生たちの姿も見られ、盛り沢山の内容となりました。子ども発達教育学科の自治会は、あげもみじの模擬店、プラン作りやフォトスポット、射的、輪投げなどのブースを運営して、来場の園児さんや保護者と触れ合っていました。今年はコロナ禍からの再スタート「黎明」が比治山祭のテーマ。来年度はぜひ、皆様をご招待できることを心から願っています。



■ 公務員試験（幼・保） 合格者インタビュー

今年の公立保育士採用試験（愛媛県今治市）に合格した、佐々木 優女さん（愛媛県立今治北高等学校出身）に伺いました。

Q. 公立保育士になりたいと思ったきっかけは？

⇒ 保育士になると決めた時に、いろいろと調べていると公立保育士という存在を知りました。その中で自分の将来を考え、目指そうと思いました。

Q. 採用試験対策はいつ頃から、どのような勉強をしましたか？

⇒ 2年から、学科独自の勉強会に入り、中学までの基礎学力を上げる勉強をしました。採用試験の問題に触れたのは3年からです。問題集や模試を少しずつしました。本格的に勉強したのは、4年生になってから。朝から夕方まで、学校で友達と勉強していました。

Q. どんな先生になりたいですか？

⇒ 子どもだけでなく、保護者も支えられる保育士になりたいです。日々、保護者ややり取りをする中で、不安や悩みを聞き寄り添うことで、保護者の方から子育てのパートナーとして信頼される存在が私の理想の保育士です。

Q. 高校生へのメッセージをお願いします

⇒ 比治山大学は先生との距離が近いところが魅力だと思います。気軽に相談に行き、進路実現に向けてたくさん対策をして頂きました。自分ひとりではなく、周りの人と先生とみんなで最後まで頑張れる場所だと思います。



クラブハウスの植栽



HIIZAYAMA

■ 小学校教員・幼稚園教諭・保育士を目指す学生の声

私は、一人ひとりの子どもの気持ちを汲み取ることができる保育者になりたい。

おもちゃを投げるなど好ましくない行動をする子ども、遊びに参加しないで遠くからその遊びを見守っている子どもなど、実習で様々な場面に出会った。

保育者が安心できる環境で子どもと一対一で話を聞くと、園に来るまでの出来事や友達に自分の思いを伝えられなかった悲しさなど、様々な思いからそのような行動になったのだと知ることができた。子どもの行動には言葉にはしていない思い、うまく伝えられない思いが隠れているため、子どもの行動を否定しないで受け止め、行動に至るまでの背景を知り、一緒に考えられるような信頼できる存在になりたいと考える。

月輪乃華（高陽高等学校出身）

自分は、子どもたちが自ら伸びるような学級づくりができ小学校教師になりたい。

教育実習へ行くとき、子どもたちと仲良くなれるか、授業がうまく行くか、とても不安だった。しかし実際に教育実習へ行くと、子どもたちの方からたくさん話しかけてきてくれ、すぐに仲良くなることができた。授業でも他の先生方が親切に指導して下さり、これまでとは比べ物にならない、良い授業を行うことができた。

教育実習中に、子どもたちの小さないざこざを止めることができなかったのも、その対処の仕方も学んでいきたい。比治山大学では各教科に専門の先生がいて、とても学びになる話を聞くことができる。模擬授業は実際に教師目線での指導があり、どこができているか、できていないかを詳しく教えて貰え、良い授業を作ることができた。

三村昌輝（如水館高等学校出身）



■ 授業風景の紹介



1年生が「保育者論」の授業で「くつした人形」「てぶくろ人形」を作りました。作り方説明と幼稚園・保育所での実践場面の動画を見て、学生一人ひとりのオリジナル人形を作成。他の人たちが、どんな工夫をしているかを見て学ぶ、ギャラリー・ウォークの時間に写真を撮りました。目や鼻のパーツで表情をつけるだけでなく、化粧品で着色する学生もいました。実践的な学びになりました。

■ 高校生のみなさんへ

「小学校・幼稚園・保育園・こども園の先生になりたい」

「将来、子ども関連の仕事がしたい」…。

そんな夢をもっている高校生の皆さんに、「子ども発達教育学科」のことを是非知って頂きたいと願っています。比治山大学ホームページを、どうぞご覧下さい。

